



しばた議会だより



(西船迫1丁目商店会夏まつり)

どれにしようかな

- 第2回、第3回臨時議会 議会は「合併しない」を選択 2・3
- 第4回臨時議会・むつみ学園の移転決まる…………… 4
- 6月定例議会
 - ・緊急雇用対策予算など3,900万円を補正… 5
 - ・一般質問 …………… 6
- 「追跡」あれはどうなった……………14
- あなたの一言（藤井^{なりあき}齊晃さん）……………16

「しない」を選択

議長へ提出された「3町合併協議会からの離脱に関する陳情」を早期に審議するため、10人の議員から町長に対し臨時議会の招集請求が提出されました。

この請求を受けて招集された4月27日の第2回臨時議会では、陳情に関して活発な議論が交わされ、採決の結果、賛成多数で採択されました。

第2回

臨時議会

「3町合併協議会からの離脱に関する陳情」を採択

質疑 町民に対して正確な判断材料を提供し、住民投票を実施するという事で進めてきたが、陳情書のとおり採択された場合、村田町・大河原町議会や町民に対する説明責任はどのように考えているのか。

答弁 法定協議会は当初から合併ありきの考えがあり、十分な議論を尽くしていない状態だった。住民の関心事は、水道料金が高くなるのか安くなるのか、介護保険料が上がるのか下がるのかなど暮らしそのものであり、

その判断材料の提供も十分でなかったのではないかと。陳情書のとおり採択された場合、まず、議会と町民、村田町・大河原町に対し、状況を説明する機会を持ちたい。

反対討論

舟山 彰 議員

反対の理由、①1万人以上の町民の署名による発議で開始されたことは重要。②町議会議員選挙の結果だけで町民の総意と判断するのは早計。③町政の主役の町民から、住民投票の権利を奪うのは議会史に汚点を残す。

有賀光子 議員

住民発議により法定協議会が立ち上げられ、7月には住民投票をする予定になっている。

佐藤輝雄 議員

柴田町の合併騒ぎは滝口町長の変節にある。選挙の結果、合併反対議員が多数を占めたからといって、新市基本計画が示される直前に離脱することは許されない。あくまで住民投票をすべきである。

大沼惇義 議員

3町合併協議会は約1万人の署名により住民発議という形で設置されたものである。協議会の審議も進み、新市基本計画が明らかになるこの時期の離脱には反対だ。合併の賛否は住民投票を実施して決定すべきである。

賛成討論

広沢 真 議員

今回の合併についてこれまで公正な住民投票を求めてきたが、合併協議会が住民に対して必要な情報を提供しようとしていない。このままでは公正な住民投票ができないことから、離脱することには正当性がある。

佐久間光洋 議員

合併による財政状況の好転は難しく、新たな負担さえ懸念される。過去の事例を見ても、良くなつたところは少なく慎重な見極めが必要である。説明や展望のない合併より、自立のまちづくりに専念したほうが良い。

白内恵美子 議員

3町合併には反対という住民意思が、議会議員選挙で示された。この意思を尊重し、柴田町は合併協議会から即刻離脱すべきである。これ以上合併協議を続けることは、時間と労力と経費の無駄でしかない。

大坂三男 議員

3町合併は柴田町の住民にとって大きな不利益となる。合併協議会は慎重に協議する使命があるのに役割を果たしていない。選挙で住民は合併に反対の意思を示した。合併協議会から早期に離脱すべきである。



議会は

「合併」

第3回

臨時議会

5月25日に第3回臨時議会が招集され、町長から3町合併協議会の廃止議案が提案されました。採決の結果賛成多数で可決しました。

なお、大河原町議会、村田町議会でも同じ議案が提案されましたが、村田町議会で否決されたため、3町合併協議会は「廃止」されず、「休止」となりました。

3町合併協議会の廃止議案を可決



単独町政で進む柴田町

反対討論

星 吉郎 議員

3月の町議会議員選挙で18名中11名の合併反対派が当選したことで、民意が反映されたと言っているが、これからの新市基本計画も論議されず、7月に予定されている住民投票もせずに廃止する責任は重大である。

舟山 彰 議員

4月27日以後の河北新聞の社説や朝日新聞の記事には、「なぜ住民投票までいかなかったのか」と載っていた。町長と賛成した議員には町民から住民投票という大きな権利を奪った責任がある。

佐藤輝雄 議員

新市基本計画の説明直前になって、柴田町・村田町・大河原町合併協議会廃止の理由がわからない。町長の作為を感じる。合併問題の決着は、各新聞の主張どおり住民投票で決着すべきである。

質疑 3町いずれかで否決された場合、協議会は休止という形で残ると聞いているが、法的な根拠はあるのか。
答弁 自治法上明確な規定はない。新たに合併の合意があつた場合は再開できるが、事実上活動は停止するので、ほぼ廃止と同様の姿になる。

賛成討論

森 淑子 議員

離脱が決まった以上、合併協議会廃止は当然。総務省までもが「市町村合併はもう必要ない」としているのだから、もう休止符を打つべきである。先送りしていた施策を進め、住民と協働の町づくりに邁進すべきだ。

水戸義裕 議員

協議会では何の議論もなく、国・県が進めた合併の方針に従っただけで、住民の幸せや地域の発展を目指したとは言えない。白紙に戻し、将来のまちづくりの良い機会とすべきである。

広沢 真 議員

今回の合併は最初から「合併ありき」で、県の異常な干渉と、合併協議会では合併賛成の委員がすでに合併した自治体の検証に背を向ける態度をとり、公正な住民投票を行える状態にないと判断した。廃止は必然である。

反対討論

広沢 真 議員

地方自治体職員のポーンナスは、地域経済にとつて大きな影響力を持っている。不況下で民間のポーンナス削減の理由にされ、不況下の悪循環に陥る。公務員所得を下げるのではなく、民間の所得を上げる施策が重要である。

賛成討論

大坂三男 議員

昨今の世界的不況で、国内の民間企業においても雇用や給与状況が悪化している。職員の期末並びに勤務手当の一部を凍結する本議案については、他の自治体や民間企業等の実態を勘案するとやむを得ないと判断する。

町三役などのポーンナスをカット

人事院勧告にならつて、町三役・職員・議員のポーンナスの0.15〜0.20カ月カットが原案のとおり可決されました。

第4回

臨時議会

むつみ学園移転決まる

国の臨時交付金事業を含め総額 2億3,800万円の補正予算を可決

7月15日に第4回臨時議会が開催され、21年度一般会計でむつみ学園の移転先施設（旧富上児童館）の改修工事、乳幼児医療費拡充、船岡中学校校舎耐震補強等の実施設計など2億3,840万1千円の補正予算を賛成多数で原案どおり可決しました。

今回の補正予算は、主に国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金に関連したもので、事業の内容は下表のとおりです。



むつみ学園の移転先となる旧富上児童館

主な地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

● 交付限度額 1億4,251万円

※千円単位は切り捨て

区分	事業名	事業費
地区集会所	旧富上分館改修工事（耐震診断委託含む）	500万円
野外拡声装置	野外拡声装置設置工事（下名生地区）	235万円
児童福祉施設	船迫児童館園庭改修工事	366万円
	むつみ学園移転施設改修設計委託・工事（旧富上児童館）	1,110万円
農業用施設	富沢東山ため池改修調査委託・改修工事	800万円
	三名生排水機場機器修繕・五間堀排水機場導水路改修工事	700万円
水田転作	水田転作大豆振興事業補助金	600万円
町道	町道維持工事測量設計	3,200万円
	町道富沢16号線道路改修工事	
	町道四日市場25号線道路改修工事	
	町道船岡9号線道路改修工事	
公園遊具	船岡中央公園遊具設置工事	800万円
駐輪場	船岡駅北駐輪場補修工事	900万円
学校	学校 ICT 環境整備（備品購入） ・地デジテレビ購入 ・パソコン購入	5,085万円
	船岡中学校屋内運動場改築事業実施設計業務	1,437万円
	船岡中学校屋内運動場耐力度調査業務委託	252万円
	槻木中学校校舎・特別教室耐力度調査業務委託	315万円
生涯学習施設	農村環境改善センター施設改修	117万円
	船岡生涯学習センター施設改修	
	西住公民館施設改修	

平成21年9月30日まで

入院費は6歳未満まで
通院費は4歳未満まで

無料

平成21年10月1日から

入院・通院ともに小学校入学まで

無料

3月定例会で、通院の助成対象を10月1日から5歳未満児まで拡大することを議決しましたが、町民の強い要望にこたえ、さらに6歳未満児まで助成対象（6歳になった年度まで）小学校入学までを拡大しました。

これにより、入院・通院とも小学校入学までの医療費が無料になります。

乳幼児医療費
6歳未満まで
助成を拡大

6月定例議会

緊急雇用対策予算など

3,900万円を補正

出産育児一時金
4万円の増額など
条例改正を可決



臨時職員が各部門に配置されます(船迫中学校)

介護保険特別会計

グループホームに スプリンクラー設置

補正予算の主なものは、国の臨時雇用創出事業に伴う臨時職員の配置、学校管理費、子育て応援特別手当の追加などを増額補正するもので、総額 3 千 900 万円になりました。

補正予算の主な内容

一般会計	臨時雇用創出事業で新たに配置された臨時職員の 人件費など各課に配置分 (総額 1,300 万円)
	船岡中学校体育館の耐震調査と建て替えに向けた 設計料 (1,136 万円)
	子育て応援特別手当の追加分 (100 万円)
介護保険 特別会計	認知症の高齢者グループホームにスプリンク ラーを設置する事業 (571 万円)



全グループホームに逐次スプリンクラーが設置されます
(グループホームふなおか)

増額 出産一時金を

国の緊急少子化対策の一環として、国民健康保険に加入している人を対象に、平成21年10月1日から23年3月31日までの期間中に出生した場合に

限り暫定措置として、現在35万円の出生育児一時金を4万円増額して39万円支給する条例改正を原案のとおり可決しました。

国民健康保険加入者対象

平成21年10月1日から23年3月31日までの間に出生した場合

現行35万円 → 39万円に

平成21年第2回定例会(6月定例議会)は6月5日から6月11日まで7日間の会期で開催されました。
本会議では条例の一部改正や補正予算などの議案10件と意見

書4件を審議し、原案のとおり可決しました。
また、一般質問では新人議員6名を含め14名が質問し、活気あふれる議会になりました。

意見書

次の4つの意見書を本会議で審議し、原案のとおり可決しました。なお、内閣総理大臣、両院議長など関係機関に提出しました。

○「基地対策予算の増額等を求める意見書」

提案者 水戸 義裕
賛同者 広沢 真
賛同者 加藤 克明

○「協働労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書」

提案者 白内恵美子
賛同者 森 淑子

○「どの地域でも格差のない、ゆき届いた教育を保障するために、義務教育国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」

提案者 広沢 真
賛同者 平間奈緒美
賛同者 加藤 克明
賛同者 白内恵美子

○「「非核日本宣言」を求める意見書」

提案者 広沢 真
賛同者 水戸 義裕
賛同者 森 淑子
賛同者 大坂 三男

一般質問



ズバリ

あなたにかわって

ここが聞きたい



掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

白内恵美子 議員

問 子どもたちの読書環境の整備には学校図書館の充実が必要。学校に専任司書の配置を。

答 司書を配置し充実を図る積極的施策は非常に大事。今後の努力目標としていきたい。

舟山 彰 議員

問 新栄通線への信号機設置の見通しと、周辺道路の安全対策はいかに。

答 警察では当面、四方の町道を一時停止とする規制で対応すること。

問 学校や観光協会等の少額の発注も、中小企業対策のため見直すべきではないか。

答 それぞれ少額であり、一業者に偏った購入にはなっていない。

問 柴田町長に仙台市や石巻市のようなタクシーチケット問題はないのか。

答 チケットの監査は受けており、私的な使用等は一切ない。

平間奈緒美 議員

問 来年度建て替え予定の船岡中学校体育館の防災対策についての考えは。

答 災害時の重要な避難施設となるため、担当機関と協議し、防災機能を備えた体育館としていく。

佐々木裕子 議員

問 防犯対策として防犯灯・街灯を青色に変え、犯罪抑止・防止で安全・安心を。

答 実験事業として、今年度中に1カ所の設置を検討する。

佐久間光洋 議員

問 老朽化した子育て支援センターの建物とグラウンドの早急な整備を求める。

答 今後、グラウンドの形状を調査し、駐車場を含め早急に整備していく。

有賀光子 議員

問 本町の新型インフルエンザ対策の行動計画を早急に策定すべきと考えるが。

答 秋以降に第二波が来るのは間違いない。秋までに行動計画の策定を完了させたい。

問 乳幼児医療費助成制度における所得制限を緩和する考えは。

答 本年10月に前倒しで6歳未満まで拡大する。所得制限の緩和も検討する。

安部俊三 議員

問 柴田町生涯スポーツ振興計画「しばたスポーツプラン21」の進捗状況は。

答 プランの評価、分析、検証を行い、地域住民の参加と協力のもと、積極的に推進していく。



白内恵美子 議員

Q 地域医療を考える
研修会や討論会の
開催を

A 構成市町や病院と連携し、
研修会の実施を検討する



がん拠点病院を目指すみやぎ県南中核病院

問 みやぎ県南中核病院の公立病院改革プランが策定された。町が果たす役割をどう考えるのか。

答 改革プランに基づき医療機関の機能分担と連携を進め、一層の医療の充実・強化を図り、質の高い医療サービスを提供していく。町は、運営費などの負担金を適正に支出し、町民への医療サービスの充実を図る。

問 地域医療の充実には住民の理解と協力が欠かせない。公立病院の果た

す役割、今後の仙南地域医療のあり方等、住民にわかりやすい説明と十分な議論をすることが必要。医療従事者を交えた研修会や討論会を開催すべき。

答 医師や医療従事者による説明が、より効果的。構成市町や病院と連携し、研修会の実施を検討する。公立病院の使命である救急、小児・産婦人科医療などの不採算部門について、住民に周知していくことが大事である。

問 改革プランには、経

営形態の見直しや刈田病院との機能分化・集約、がん拠点病院を目指し放射線治療装置の導入が盛り込まれている。住民に説明が必要ではないか。

答 まだ1市3町の病院組合の中で合意を得ている内容ではない。平成24年度にがん拠点病院を目指すプランだが、放射線治療装置とガードする建物合わせると19億円かかる。費用負担割合と、赤字になった場合構成市町が耐えられるかが問題。



大坂三男 議員

Q 長期総合計画や
基本計画は実現性と
正確さが必要

A 住民参画を基本に、財政状況
などを重視して策定する



10年ごとに見直しされる町の長期総合計画
(写真は現在の長期総合計画と後期基本計画)

問 次期、長期総合計画などの進行状況は。

答 少し遅れているがこれからスタートする。

問 町民は町の将来ビジョンを求めている。次期計画の中でしっかりと示すべきである。どのような方針で取り組むのか。

答 従来づくり方や内容を見直し、より実効性のある計画とするため、10年間の財政推計や重点事業にリンクした計画とする。策定作業にあたっては業者への委託をなるべく減らし、町民の意見を聞きながら職員主導で計画づくりに取り組む。

問 3町合併の新しい基本計画案について新聞報道があり、「柴田町に優先的に投資的事業が盛り込まれる」と書かれているが事実か。

答 基本計画に柴田町優先の記述はなく、合併協議会事務局もそのような情報は提供していない。

問 同じ記事で「合併で柴田町の懸案事業が早く実施できる可能性がある」となっているが。

べく減らし、町民の意見を聞きながら職員主導で計画づくりに取り組む。

問 3町合併の新しい基本計画案について新聞報道があり、「柴田町に優先的に投資的事業が盛り込まれる」と書かれているが事実か。

答 基本計画に柴田町優先の記述はなく、合併協議会事務局もそのような情報は提供していない。

問 同じ記事で「合併で柴田町の懸案事業が早く実施できる可能性がある」となっているが。

た」となっているが。

答 合併推進債を活用すれば早めの着手は可能だが、基本計画に載った事業は、柴田町では合併しなくてもやれる財政状態になってきている。

問 この新しい基本計画はどのようなものなのか。

答 将来に新たな夢を抱かせる記述はなく、合併への期待を萎えさせ、離脱への思いを補強する結果となるものである。



佐々木守 議員

Q 独自のまちづくりと景気浮揚対策は

A コンパクトシティの推進と国の臨時交付金で景気対策を図る



さらに発展の期待される船岡新栄地区

問 3町合併問題も白紙に戻り、独自のまちづくりを掲げてきた町長の役割と責任は重い。町の将来像をどう考えているか。

答 コンパクトシティ構想に基づいて、船岡を中心とした都市部、大沼通線を含む船岡新栄を中心とした新都市部、北船岡・船迫地区、槻木地区の4極を結ぶ道路を整備することにより、それぞれの地区の良さを生かした発展と、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。

問 アメリカの金融破綻からの世界同時不況の中、国の景気浮揚対策補正予算で交付される交付金を活用した町の景気浮揚対策の取り組みはどうなっているか。

答 景気浮揚対策として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億4千200万円を使い、学校耐震化や建て替え（槻木中学校は耐震化か建て替えかを検討）、道路や側溝の整備などを行うため、7月の

臨時議会に提案する。

問 商工会プレミアム商品券の効果はあったのか。

答 定額給付金の支給に合わせて発行した商工会プレミアム商品券は、好評で効果があった。22年度も発行を考えている。



舟山 彰 議員

Q このままで柴田町の将来は大丈夫なのか

A 財政的に心配はない



整備計画が進む鷺沼排水路

問 町から議員に提出された「10カ年待機事業」の資料を町民が見たら、町単独でやって行くことは財政的に無理があると不安を持ち、自分たちの強く要望する事業が全く実施されず、希望が持てないと思うのではないか。

答 合併してもしなくても、この10カ年待機事業は、一応実現可能であることを示しており、財政的に心配はない。

今回の待機事業の多くは町民の要望の中から施策化したものだが、長期総合計画策定までに、さらに議会や住民の意向を踏まえ、新しい事業を盛り込んでいく。

問 町の財政が危機を回避できたとしても、一時的なもので安心はできない。収入減、福祉予算の増大、10カ年待機事業等の支出の増大など、今後の財政運営はかなり厳しいと予想される。

それに対し、町としてできる対策には限度がある。町長は財源確保をいかに図るのか。また、町民にどう説明するのか。

答 歳入面では企業誘致や産業興しによる税源の拡大、滞納整理の強化による税収の確保、新たな施策提案による国県補助金の確保等を考えている。財政健全化指標を悪化させない財政運営を心がけ、情報の公開を通じて財政規律の重要性を町民に説いていく。



平間奈緒美 議員

Q 保育ママ制度の活用を

A 国や県の財政支援の活用を含め今後検討していく



保育ママ奮闘中

問 町の子育て支援事業の中に、ゆとりの育児支援事業として特定保育サービスと一時保育サービスがある。保護者の就業形態の多様化や緊急事態などの保育需要に対応するため、現在は2カ所で行われている。いざというときに安心して子どもを預かってもらえる場所が必要である。現在保育所で行っている一時保育については、保育ママ制度を活用してはどうか。

答 保育ママ制度は、待機児童の解消策の一つとして有効な事業であると認識している。現在、町内においても民間団体のNPOや個人グループなどで子育て支援の事業展開が始まっており、町ではその各団体と連携を図り、利用者の声にこたえていく。

問 保育ママに対する補助金や助成金などは考えているか。

答 国や県の財政支援を利用して、町と一緒に連携して助成する方法と、

問 柴田町の道路整備はどの程度進んでいるのか。

答 幹線道路はおおむね終わっており、今後補助事業である「地域活力基盤創造交付金」を活用し、四日市場1号線、下名生3号線が、来年度着手できるような県に要望書を提出済みである。

問 これまで町民からの要望・請願書は、どれくらい出されているのか。

答 道路関係では、町道船岡西6号線拡幅に関する請願を初め、平成以後

30件、幹線道路幅員改良、雨水対策、側溝整備などで提出されている。これ以外にも行政区長や町民などから道路関係の苦情や要望があり、平成20年度は15件出されている。

問 今後整備していく上で、町民の安全を考え、道路の段差や側溝のふたの穴の大きさなど細かいところにも目を向け、未完成道路や通学路、生活路を優先に順位を定めてはどうか。要望・請願書の件も危険回避に向け早

Q 安全で歩きやすく、みんなにやさしい道路を

A 「グローバルデザイン」による道路整備に取り組む



佐々木裕子 議員



拡幅が待たれる町道四日市場1号線



高橋たい子 議員

Q 我が町の農業振興をどう考えているのか

農業・農村をめぐる情勢は、輸入農産物の増大と国内農産物の価格低迷、担い手不足や耕作放棄地の増加、原油高から生産コストを上昇させ、農業所得の減少など我が国農業の危機が進行している。反面、事故米騒動、加工食品の偽装表示などが多発し、食生活の安心・安全が脅かされている。我が町の農業と農村集落が将来とも継続するために、持続可能な農業の振興を図り、農畜産物を

A 産直ネットワークづくりと交流イベントに積極的に取り組む



新鮮をお届けします(葉坂の直売所 みでがいん)

安定的に供給し、地域経済・社会を支えていくのが農業であると考えている。
問 農業を基幹産業としてどのように位置づけをしていくのか。
答 農政関係機関と連携し、農家・集落・組織などがそれぞれの良さを発揮できる環境づくりと、農業とのかかわりのできる生産流通の再構築を進めていく。
問 持続ある担い手育成対策をどう進めるのか。
答 農業が崩壊しないよ

うな政策を県・国に強く要望していくと同時に、地域づくりと連動した総合的な担い手育成や支援に取り組んでいく。
問 町独自の政策は考えているのか。
答 町内各地で始まった産直市のネットワークづくりを行うとともに、太陽の村を基点に農村部、都市部との交流イベントの開催など、積極的な取り組みを考えている。



水戸義裕 議員

Q 自立の道を選択。今後の町政運営は

A 過去を正しく分析したうえで進める



太陽の村から、さくら船岡大橋を望む

問 世界的景気低迷の中、本町で財政問題は避けられない最重要課題である。今般、自立の道を選択した。今後の町政運営をどのように考えているのか。
答 過去のまちづくりを正しく分析し、自然と共生した質の高いコンパクトシティが柴田の未来の都市像である。自分たちのまちは自分たちでという原則を基本に据えて運営し、政策の選択と集中を心がけて財政調整基金を適正に活用していく。

問 協働のまちづくりや職員の能力向上・人材育成への取り組みはどのように考えているのか。
答 相互に協力しあう協働のまちづくりを進めるためには住民自治によるまちづくり基本条例の制定が必要。職員は住民の一步先を行く、町民に信頼される職員となること。管理職のマネジメント力や能力の向上、意識改革のための研修を実施。
問 「よくわかる町の仕事と予算」は好評だが、

その予算の結果・成果に町民は関心があると思う。まとめたものを公表する考えはないのか。
答 細かい評価でなくとも、住民の満足度が得られたかについては特集という形で取りあげていきたい。基本的にはこのしるの予算をいち早く町民にお知らせすることを優先したい。



広沢 真 議員

Q 要介護度認定基準見直しの影響は

A 介護サービスの利用減につながらないよう対策を検討



楽しいなデイサービス(デイサービスセンター あおぞら)

問 第4期介護事業計画の改定で、保険料、介護報酬、要介護認定基準の見直しがあり、要介護度が下がることが懸念される。

答 要介護認定の基準の変更によって、要介護度が下がった人はいるのか。

答 5月末までに審査・判定した93件のうち、継続認定者で認定が下がった人は11人、上がった人は13人、変わらない人は42人だった。

問 今後要介護度が下がる人が多くなると予想されるのか。

答 要介護者が介護保険を利用できなくならないように対策を考えているのか。

答 今回下がった人で申請者の希望がある場合は、検証期間内は以前の要介護度にする経過措置を行っている。今後は要介護認定の結果も見ながら、できる限り介護サービスの利用減につながらないように対策を検討する。

問 介護報酬が3割増になることで、介護従事者の給与は変わるのか。

答 過去2回の報酬改定はマイナス改定であったため、今回の増額は事業の補てんに充てられる可能性があり、介護従事者の給与増にはならない。

問 介護報酬の値上げに伴い保険料の値上げが連動しないように国の経過措置が取られるが、経過措置後、介護保険料の値上げはするのか。

答 今後3年間は現在の保険料で事業を行う。

Q 太陽の村にパークゴルフ場の整備を



佐久間光洋 議員

A 5カ年整備計画の中で、前向きに取り組んでいく



年間を通しての観光拠点に(太陽の村)

町内の観光資源は、営業時期が限られているため、太陽の村を年間通じて利用できるように整備・活用することを提案する。町内外の観光客を呼び込める場所とイベントなどがあれば産業振興が望める。駐車場や遊歩道が整備されているので、集客力のある新しい施設としてパークゴルフ場を整備し、1年を通じて楽しめる場所としたい。

また、建設に当たっては、有志の方々の協力を得て、設計施工を通して住民と行政が一緒になって実現していく新しいモデルとして是非実現させたい。

問 パークゴルフ場の建設は可能か。

答 現在太陽の村では、体験学習や交流会・お祭りなどの行事を行っている。パークゴルフ場を整備すればさらに集客力のアップにつながると思う。利用者の意見を取り入れながら、今後計画する5カ年整備計画の中で前向きに取り組む。

問 協働という形態での施設の建設や管理は可能か。

答 これまでは自治体が管理運営するのが常だったが、施設への愛着や地域密着の運営という観点から、これからの時代はこのような形態が望ましいと考えている。各種手続き面においては町が協力していく。



佐藤輝雄 議員

Q 3年経過。質の高いコンパクトシティの成果は

A 判断するのは町民の満足度



船岡駅前

問 町長が自立のまちづくりを始めて3年が経過。その基本が「質の高いコンパクトシティ」。しかし、柴田町では使用料・手数料の値上げや各種事業の廃止と中止、スポーツ振興基金を使つての施設整備等、他の町と比しても質では劣っていると思うがどうか。

答 質の高いというのは、交通渋滞の解消、延長保育、介護予防、河川の環境整備等である。

ことさら質の高さと言うべきことではないと思うが。

答 町の特徴は、住民自治によるまちづくり基本条例を基本にして協働で町をつくることである。

問 コンパクトシティを言い出してから3年。私と町長の考え方に違いがある。コンパクトシティ構想の概要、具体的取り組みと効果、そして町の目標は。

答 船岡駅・槻木駅周辺、北船岡地区、大沼通線と

新栄通線の交差点周辺の4極を核とし、エリアの中に生活基盤、文化的基盤、民間企業などと密着した地域循環型経済をはぐくむまちづくりや、住民が町中で用が足せる機能的な都市づくりをする。協働のまちづくり、みんなを町を育てていく、そういう考え方もコンパクトシティの大きな要素になる。

Q がん検診の受診率を高める策は

有賀光子 議員

A 検診を受けやすい環境の整備に努める



がん検診クーポン券(国から示された見本)

問 今や2人に1人ががんになり、3人に1人はがんで死ぬと言われている。平成19年度の日本のがん検診受診率は、約20・3割と欧米の70割から80割に比べるとまだまだ低いのが現状である。町の受診率は何割になっているのか。

答 乳がんの受診率は41・1割で、子宮がん受診率は35・1割となっている。効果的な広報活動等にアンケート調査等に

よって実態を把握することが大事。また、企業等と連携して一緒にPRしていく。検診委託先のがん協会と協力しながら啓蒙周知に努める。

問 がん検診推進事業として、子宮がんと乳がんの検診の無料クーポン券を配布することに決まったが、この内容とスケジュールは。

答 国の緊急経済対策の一環として、子宮がんは20歳から40歳までの5歳刻み、乳がん検診は40歳

から60歳までの5歳刻みの女性に対して無料クーポン券と検診手帳を配布し、受診率のアップを目指す。10割国の助成で、早くとも8月以降からの実施となる。

問 クーポン券は他県でも利用できるのか。

答 国では、どこで受診してもよいと想定しているが、今後検討すべき課題が多い。



森 淑子 議員

Q 次世代育成支援
地域行動計画の
進捗状況は

A アンケート調査等による
町民ニーズを分析中



子育て支援センターでの活動

問 22年3月までに次世代育成支援地域行動計画後期計画を策定することになっているが、進捗状況は。

答 現在基礎資料などによる動向分析や、アンケート調査により町民ニーズを把握分析している。

今後、分析結果を基に、たたき台となる素案を作成して、次世代育成支援対策協議会委員に検証していただく。その上で議会文教厚生常任委員や町

民から意見を求め、後期計画に反映させる。

問 前期計画は目標値をクリアしたのか。

答 延長保育を3保育所で、ゆとりの保育は2カ所でやり始めた。できるところから実施していく。

問 子育てを支援したい人と支援を求めめる人ネットワークでつなぐ仕事を、ファミリーサポートセンターはどう検討されているか。

答 どのような方法が良いか考えている。つなぐ

作業は子育て支援センターや子ども家庭課などですでに取り組んでいる。

問 子育て支援は市場原理主義や効率化はなじまない。ワーカーズやNPOの力を借りるのが良いと思うが、町にはNPOなどの活動を支援する仕組みがないのではないか。

答 子育ての支援をいただく場合は、施設使用料減免の対応をしているが、町全体の中で再度協議していく。



安部俊三 議員

Q 学校内・周辺の
安全点検と問題点への
対応は

A 改善を要する箇所について、
一覧表を作成し整備に努力



改修された船岡中学校フェンス

問 学校内及び周辺の安全等に関する点検を、町全体で取り組み、改善を要する箇所について、一覧表を作成してはどうか。

答 子どもたちの安全を第一に考え、改善を要する項目・対策などについて一覧表を作成し、迅速で適切な整備が行われるよう努力する。

問 一覧表はいつまで作成するのか。

答 今ある情報や要望などを一覧表にすることは、今年度中にできる。

問 学校の環境整備は、今後どういった姿勢で取り組むつもりなのか。

答 学校関係は遅れている状態である。地域活性化・経済危機対策臨時交付金などを活用し、重点的に投入して遅れを取り戻したい。

問 雨漏りといった急を要する対応は、どうなっているのか。

答 授業に支障がある状況とまでは至っていない。今年度、船迫小体育館2階出入口付近を修繕する。

校舎屋上の防水工事も必要となってきたので、大規模改造とあわせて対処していく考えである。

問 児童・生徒の心に影響を与える「美しい景観」を保つための対応を、どう考えているのか。

答 校舎の壁が汚れているので、大規模改造とあわせて対応していきたい。すでに配置済みの各校1名の校務員を活用するなど、学校美化に務めていく考えである。

追跡 あれはどうなった？

進む丸山沢排水路などの改良工事

今回の「追跡」は、18 B 行政区から陳情がなされ採択となった排水路の改良工事と、文教厚生常任委員会で指摘した農村環境改善センターの雨漏り修繕について、その後の対応や取り組み状況を取り上げました。

現在までの経過

平成14年3月、18 B 行政区代表から、丸山沢と鬼石沢の大雨時の急激な放水と土砂流出の危険に対処するため、排水路の改良工事に関する陳情が出され、町議会にて採択となりました。

町では、「丸山沢地区排水路工

事」と「鬼石沢地区排水路工事」の実施計画を立てました。

県事業「四日市場鬼石沢予防治山工事」との関連もあり、鬼石沢地区排水路工事は先に実施され、21年3月に完了しました。



進む急傾斜地での治山ダム設置工事

今後の予定

平成21年度事業となった丸山沢地区排水路工事は、6月に着工しており、10月に完了する予定となっています。

県事業の鬼石沢予防治山工事は引き続き、下流の流路工の工事が行われる予定となっており、早期完成を目指すこととなっています。

農村環境改善センターの屋根を修繕

現在までの経過

平成20年度に文教厚生常任委員会が行った所管事務調査で、「農村環境改善センター多目的ホールのステージ天井及び倉庫内の雨漏りが認められることから、早急に修繕すべきである」との指摘をされました。

雨漏りの現地調査を町職員で実施しましたが、雨漏りの場所が特定でき



これで一安心

ず、調査を専門業者に依頼しました。それでも雨漏りの場所が特定できなかったため、下地処理、ウレタン塗膜防水を施すなど、屋根の全面コーティング工事を実施することとなりました。

改修工事は平成21年5月に着手し、6月に完了しました。

常任委員会レポート

各常任委員会は
年4回各課の仕事を
調査しています。

総務

- 日時 平成21年5月18日～20日
- 調査内容
 - ・ 事務事業の内容及び執行状況
 - ・ 前年度指摘事項に対する措置状況

若年層消防団員の加入促進を

《総務課》

本町の消防団は、地域の人口、就業構造の変化及び地域社会への帰属意識の希薄化等から消防団員数の減少傾向が続いている。また、団員の定年を70歳にしたことにより高齢化を防止する一方で、特に若年層の減少の顕著化が見られ、年齢構造の側面からも今後の災害対応力の維持に不安がある。

団員の減少傾向に歯止めをかけるため、若年層の加入を推進することが必要だが、その際、町内企業からの連携・理解を模索し、現状の消防団班編成の見直しを含め地域防災の要である団員確保策を講じること。

《榎本事務所》

複雑化する各種相談への対応のため、本庁職員と連携を図りながら更なるサービスの充実に努めるとともに、集中する時間帯の対応策を検討して業務に従事すること。

文教厚生

- 日時 平成21年5月13日～14日
- 調査内容
 - ・ 事務事業の内容及び執行状況
 - ・ 前年度指摘事項に対する措置状況

一時保育サービスの利用しやすい環境整備を

《子ども家庭課》

ゆとりの育児支援事業における一時保育サービスについては、緊急的保育、育児不安の解消やフレキシブルに対応するサービスであるが、保護者（利用者）から「気おくれして、使いにくい」といった声が聞かれる。サービスの利用目的を再認識し、利用しやすい環境整備を検討すること。

《生涯学習課》

暫定図書館の職員配置については、専門性が必要なことから経験のある司書資格を有する人を正規職員として採用するよう早急に検討すること。



所管事務調査をする常任委員会

産業建設

- 日時 平成21年5月11日～12日
- 調査内容
 - ・ 事務事業の内容及び執行状況
 - ・ 前年度指摘事項に対する措置状況

しばた桜まつり期間中の渋滞解消を

《地域産業振興課》

しばた桜まつりの時期は、町内至るところで車の渋滞が発生しており、渋滞緩和・解消に努力しているが、なお一層の解消策、特に柴田大橋の渋滞解消のため対策を検討すること。

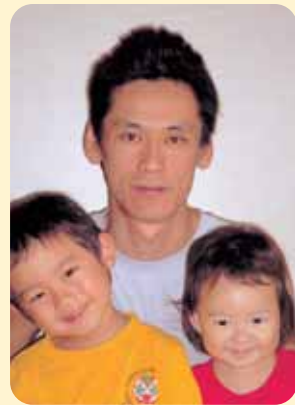
《都市建設課》

町営住宅建替事業の今後の計画については、公的住宅の需要がどれくらいあるのか、また今後建て替え増設をする必要があるのかを再検討し、計画案を示すこと。

《上下水道課》

鷺沼排水路事業は町内の水害の改善のため早期着工が望まれてきた。昨今、温暖化等の影響によるゲリラ豪雨など、豪雨災害も増加傾向にあることから、緊急度は増してきた。大河原町と調整を図り、できる限り早期に着工されたい。

あなたの一言



藤井 斉晃 さん
(船岡西一丁目)

●柴田町に住んで感じたことは

2年ほど前に宇都宮市から妻の実家に転居してきました。4歳と1歳の子どもがいますが、城下町ということもあり、風情があり、散歩しているところ癒されます。

とは思いますが、銭湯や子どもがのびのびと笑顔で遊ぶことのできる公園があれば最高ですね。

●柴田町の好きな風景は

春の船岡城址公園と一目千本桜はとても美しく、気に入っています。

議会だよりを読んでいます。気になったところは読んでいます。

●町に何を望みますか

不景気の世の中、住民がストレス発散できる癒しの場があると町が活気づくと思います。難しい

●議会、議員に何を望みますか

大小さまざまな行政問題を抱えていると思いますが、大人の方だけでなく、子どもの声も大切に、活気のある明るい町にしていただけることを期待しています。

未来へ向けて

平成21年 議会懇談会を開催します

議会活動の報告や、議会・町政に対する意見等を聴取するため、今年も「議会懇談会」を開催する予定です。(詳細は近くなりましたら町のお知らせ版等に掲載)



開催日時	会場
11月11日(水) 午後7時～	柴田町役場 (保健センター4階会議室)
	槻木生涯学習センター (3階会議室2)
	船迫生涯学習センター (2階会議室1・2)
11月12日(木) 午後7時～	農村環境改善センター (1階農事研修室)
	西住公民館 (ホール)
	船岡生涯学習センター (2階和室)

◆編集後記◆

新しい議員による6月定例議会が、町民の皆様から注目される中で開催されました。新しい議会の特徴は、新人議員6名という構成で、女性議員が3分の1を占めるといっても、県議会、市町村議会では初めてのことです。仙台市議会の女性議員10人(定数60人)に次ぐ2番目の数になります。今回のしばた議会だよりは、前号とはまた違った意味で見えていただけるものと期待しております。これから新しい議会で一般質問を通じてお互い議論を深め、切磋琢磨しながら、よりよい町づくりを目指し、政策を実現していきたいと思っております。ご期待ください。

広報委員 佐々木 守

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第3回定例会は

9月4日(金) 午前10時開催予定

一般質問は

9月7日(月)・8日(火)・9日(水)の予定

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページに議会会議録を掲載

議会会議録は町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」に掲載しています。



柴田町のホームページ

<http://www.town.shibata.miyagi.jp>